



# 生保内中学校報

令和2年  
2月5日(水)  
No. 10

## 子どもたちの頑張りが・・・

先週末に行われた【郡市小・中学校スキー大会】にも、土日（1,2日）は部活動単位で、月曜日（3日）は1年生が、大会補助員として参加しました。この大会中も多くの校長先生方や関係者の方々から「生保内中の子どもたちにとってもよく頑張ってもらっている。ありがたい!」という言葉をかけていただいていたのですが、昨日（4日<火>）、大曲仙北中学校体育連盟の今野会長（中仙中校長）と、大曲仙北体育研究会の山本会長（角館中校長）のお二人から電話をいただきました。

今野会長からは「夏の暑いときの『田沢湖駅伝』、冬の寒いときの『郡市小・中学校スキー大会』に大会補助員として、生保内中の生徒の皆さんに協力してもらいありがとうございました。生保内中の生徒たちの頑張りなくして、この2つの大会は出来ませんでした。感謝しています。子どもたち、先生方によろしくお伝えください」と、山本会長からは「生保内中の子どもたちの頑なりに、郡内の先生方がみんな感謝している。本当にありがとうございました。子どもたちにも、先生たちにもよろしくお伝えください」と、改めて感謝と労いの言葉をかけていただきました。

両団体から、「子どもたちの頑なりに感謝の気持ちを伝え、どうにかしてその頑なりに報いたい」ということで、大会補助員として頑張った1、2年生一人一人に『お菓子の詰め合わせ』をいただきました。他の人のために頑張ったことが認められ、感謝され、ましてや褒美までいただけ、とても嬉しいことでした。

（2年生は昨日（4日）、1年生は今日（5日）家に持ち帰りました。）

### “見ている人は、ちゃんと見ている。”

一生懸命がんばっていれば、必ず誰かがそれを見てくれている。～中略～ 一見、損な役回りや尻めぐいのような役割を任されたときに、どういう気持ちで仕事をするのかが重要だ。どういう場面でも一生懸命やっていけば、必ずチャンスは訪れるものである。それを信じて努力を怠らないことが何より大切だ

元 楽天イーグルス監督 野村克也著『志の書～夢を叶える心得～』より

### こんなところでも・・・

昨夜からの雪が降り積もり、今朝は久しぶりの本格的な冬をイメージさせる雪景色でした。

当然、学校の玄関前にも雪が積もっていたのですが、登校してきたある子どもが、誰に言われるでもなく除雪用具を玄関から取り出し、玄関前の階段下の雪を寄せ始めました。それを見た別の子どもも、同じ様に除雪用具を使って雪寄せを始めました。その2人に「ありがとう」と声をかける前に、次から次へとその数は増え、気付いたら5、6人の子どもが、当然のように雪寄せを行っていました。

【朝の雪寄せ】は何年も前から当番形式で行っている活動で、今朝の当番は生徒会執行部の子どもたちだったようですが、いくら当番活動とはいえ、寒い中、懸命に重い雪を寄せている姿に、生保内中学校の子どもたちの優しさと頼もしさを感じるとともに、「陰ひなた無く誰かのために何かが出来ると、人間としての素晴らしい魅力を持っている子どもたちを、改めて誇らしく思った瞬間でした。

なお、この子たちは、雪寄せを終えた後は、そのまま玄関前に立って、登校してくる他の子どもたちに向かって大きな声で「おはよう」と挨拶をしていました。さすが、学校をリードしていく子どもたちですね。

